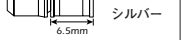



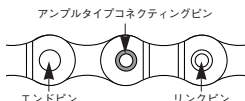
安全のために必ずお守りください。

警告

“メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄してください。錆び落とし等のアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しないでください。これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負う恐れがあります。”

- ナロータイプチェーンは必ずアンブルタイプ・コネクティングピンで連結してください。
- 2種類のアンブルタイプ・コネクティングピンがありますので、ご使用前に必ず下記の表でご確認ください。アンブルタイプ・コネクティングピン以外のコネクティングピンやチェーンに適合していないアンブルタイプ・コネクティングピンおよび工具を使用されますと十分な連結力が得られずチェーン切れやチェーン飛びを起こす場合があります。

チェーン	アンブルタイプ コネクティングピン	工具
CN-7701 / CN-HG93 の様な9段対応 スーパーナローチェーン	 シルバー 6.5mm	TL-CN32 / TL-CN27
CN-HG50 / CN-HG40 の様な8、7、6段対応 ナローチェーン	 ブラック 7.1mm	TL-CN32 / TL-CN27



- スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンブルタイプ・コネクティングピンおよびエンドピンで連結されていない箇所を切断してください。アンブルタイプ・コネクティングピンやエンドピンで連結された箇所を切るとチェーンを損傷します。
- チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷があった場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- 変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し、作動部に注油してください。
- リンク部のガタが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。
- 定期的に変速機を洗浄し作動部(メカニズム部及びプリー部)に注油してください。
- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄及びグリスアップとアウターケーブルが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。
- プリーのガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がるようになった場合は、プリーを交換してください。
- ギアは定期的中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。
- インナーケーブル内蔵式フレームでは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいいため、ご使用できません。
- ギアは必ず同じグループ刻印のセットで使用し、別グループ刻印のギア板を組み合わせて使用しないでください。
- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- 変速ケーブルには専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- 円滑な操作のため、SIS-SPシールドケーブル、ケーブルガイドをご使用ください。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- テンションプリーには、回転方向を示す矢印が付いています。変速機の表側から見て、矢印が時計回りになるように取付けてください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。



カブレオドライブシステムの取扱い説明書をあわせてお読みください。

ご使用方法

SI-5XJ0A-001

RD-F800

リアディレイラー

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

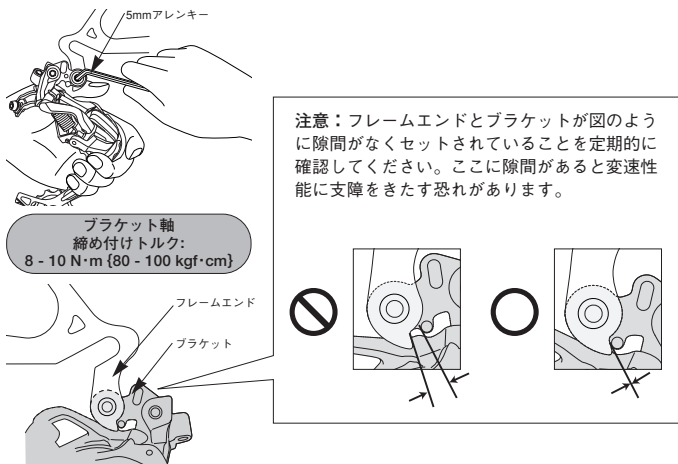
シリーズ	Capreo
ラピッドファイヤー(シフティングレバー)	SL-F800
アウターケーブル	OT-SP41 (SIS-SP41)
リアディレイラー	RD-F800
タイプ	SS / GS
フリーハブ	FH-F700
スピード	9
カセットスプロケット	CS-HG70-S
チェーン	CN-HG73
ケーブルガイド	SM-SP17 / SM-BT17

仕様

リアディレイラー

モデルナンバー	RD-F800	
タイプ	SS	GS
スピード	9	
トータルキャパシティー	17 T	
対応スプロケット	9 - 26 T	
リア最小ギア	9 T	

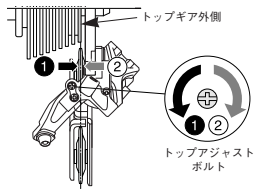
リアディレイラーの取付け



SISの調整

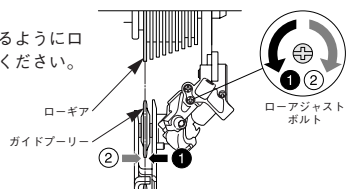
1. トップ側の調整

後方から見て、ガイドプリーがトップギアの外側の線の上にくるようにトップアジャストボルトを回して調整してください。



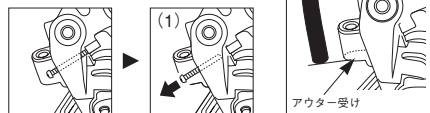
2. ロー側の調整

ガイドプリーがローギアの真下にくるようにローアジャストボルトを回して調整してください。



3. アウターケーブルの長さ

- (1) Bテンションアジャストボルトを図のような位置まで緩めてください。
- (2) アウターケーブルが適切なたわみ代を持っていることを確認後、リアディレイラーのアウター受けの下端にあわせて切断してください。



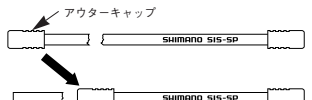
アウターケーブルの切断

アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。



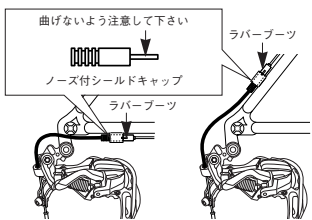
アウターケーブルキャップ

アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。



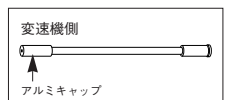
ノーズ付シールドキャップ及びラバーブーツ

ノーズ付シールドキャップはフレームのアウターストッパーに取付けて下さい。



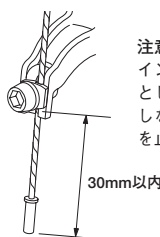
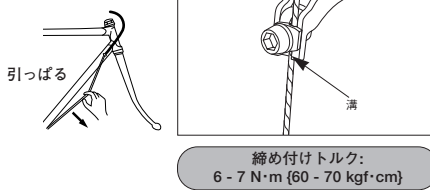
* リアサスペンション自転車等で、リアディレイラーの動きが激しい場合には、アルミキャップ(別売品)と交換をお勧めします。

アウターケーブルはアルミキャップがついた方を変速機側で使用してください。



インナーケーブルをリアディレイラーに固定し、図のように初期の伸びを取った後、再びリアディレイラーに固定しなおします。

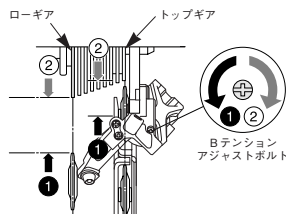
注意：インナーケーブルは必ず溝に添わせて固定してください。



注意：インナーケーブルの出代を目安として30mm以内とし、インナーケーブルと車輪のスポークが干渉しないことを確認してください。作業の際は車輪を止めて行ってください。

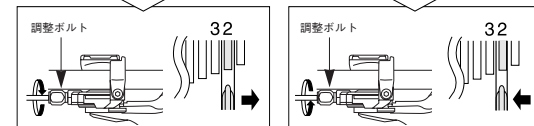
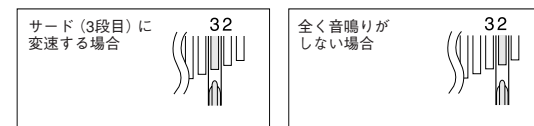
4. Bテンションアジャストボルトの調整

チェーンをフリーホイールの最大ギアとチェーンホイールにセットし、クランクを回し変速します。チェーンつまりしない位置までガイドプリーがギアと干渉しないようにBテンションアジャストボルトを回して調整します。次にフリーホイールを最小ギアにセットして同様に、チェーンつまりがないことを確認してください。



5. SISの調整

シフティングレバーを1回操作して、リアギアを2段目に変速させます。その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを回転させます。



ベストセッティング

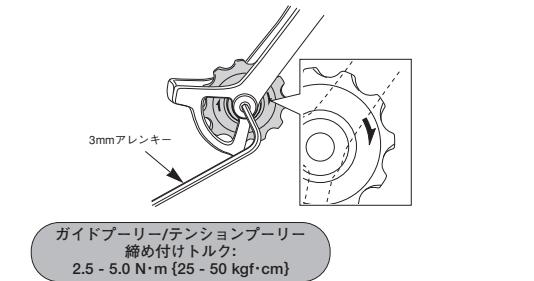
シフティングレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンがサードギアに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。

- レバーをもとの位置に戻し(レバーはセカンドの位置でレバーから指を離した状態)、クランクを回転させてください。サードギアと接触し、音鳴りが残っている場合は調整ボルトを少し締めて(時計方向)、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにしてください。

レバーを操作して変速し各段で音鳴りがないことを確認してください。

SISの機能を十分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。

リアディレイラーの交換



この取扱説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

* 取扱い説明書は下記にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>
 製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。
 お客様相談窓口
 ☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847
 株式会社シマノ
 堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577